様式３－２

令和5年9月15日

令和5年度　結果の分析及び今後の改善策（案）

（ 中間 ・ 最終 ）

川尻中学校区　校番26　学校名　呉市立川尻小学校

重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	l 結果の分析（結果と課題をこう考えます）	m 今後の改善策（案）（こう改善します（案））
★★★ 貫 確かな学力	基礎学力の定着を図る	○主体的な学びへの授業 ○家庭学習の習慣化	○進んで発表する児童に偏りがあると考えられる。対話を通して思考を深めたり，学びを自分の言葉でまとめたりすることについては，よくできている。 ○学期末テストの結果では，知識技能は国語科算数科ともに目標値を上回ったが，思考判断表現は下回っている。 ○宿題提出は，中高学年で目標値を達成している。宿題提出できない児童には個別の指導が必要と考えられる。	○発表の偏りに対しては，教師が指名したり，グループ学習を取り入れたりして，進んで発表する場面を設ける。 ○国語科では読解力を高める課題に，算数科では既習事項の復習に取り組ませる。 ○全学年，朝学習の時間を充実させる。課題のある学年に対しては，複数体制による指導を充実させる。
★★ 貫 豊かな心	自己指導能力を育成する	○生活規律の定着〈自律〉 ○夢や目標の設定 ○自尊感情の向上〈貢献〉	○縦割り班掃除に慣れていない児童に，掃除中の私語が多い。 ○児童には具体的な目標や達成のための手立てや取組を考えさせた。教員は達成した児童にシールを貼り，「評価の見える化」をした。 ○児童主体でボランティア活動の取組を呼びかけたり，参加の仕方等を動画で説明したりさせた。	○高学年が手本となって，低学年に掃除の仕方を示すとともに，教員は声掛けや掃除の仕方等の指導を継続する。 ○児童には具体的な目標設定や達成のための手立てや取組を考えさせる。教員は「評価の見える化」を継続して行う。 ○児童の主体性を重んじつつ，引き続き児童会を中心にして，ボランティア活動に取り組ませる。
★ 貫 たくましい体	健康的な生活習慣の確立と体力の向上を図る	○体力の向上 ○食育の推進	○新体力テストの結果で，走力，握力，立ち幅跳びが県平均を下回っている。 ○昨年度の課題であった柔軟性については，県平均を上回った学年が多い。学校での重点的な取組や保護者の声掛け等の協力が，児童の意識喚起を促したと考える。 ○給食開始の時刻が守られていないことがある。強化週間でなくても食事のマナー等が守られるようにしたい。	○「川尻っ子握力体操」，外遊びの奨励，個別指導等を通して体力の向上を促す。 ○「呉チャレンジマッチスタジアム」に継続して取り組む。 ○給食委員会の取組を通して，児童が主体的に食事のマナーを身に付けることができるようにする。 ○強化週間の前後も取組期間とし，食事のマナーを定着させる。

業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	○児童生徒と向き合う時間の確保 ○長時間勤務の削減	○職員間の業務連絡の方法を工夫したり会議の回数を減らしたりして，職員が児童と向き合う時間をもてるようにした。 ○職員は月の時間外勤務を45時間以内にすることを意識している。見通しをもって勤務している結果と考える。 ○	○職員に勤務の見通しをもたせるために，月や年間の予定を早めに示したり，声掛けあったりする。 ○行事の削減と授業時間の確保を進める。 ○主任層に働きかけて勤務の精選や分担を進める。